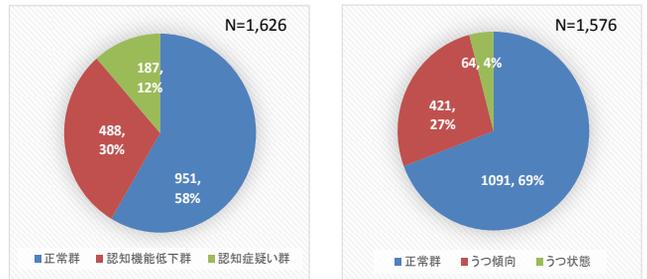


認知症作業療法 活動報告 (概要)

- ・佐賀県作業療法士会では県・市町村からの依頼を受け、認知症初期集中支援事業、認知症予防事業、認知症カフェ事業に県士会員を派遣している。
- ・佐賀県健康福祉部委託事業として、2016年より「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」を実施している。
- ・佐賀県長寿社会課の「地域包括ケア推進アドバイザー派遣事業」に県士会員を派遣している。今後、市町村に対して認知症予防事業等に関するアドバイスを行う。

認知症初期集中支援事業

市町村からの依頼を受け、神崎市、小城市等の認知症初期集中支援チームのアドバイザーとして、県士会員を派遣している。また、養成校とタイアップし体力測定会を定期的に開催している。これまで**1,626**名を測定し、認知症疑い者**187**名(12%)をピックアップし自治体の初期集中支援につなげた。



体力測定会の結果

認知症予防事業

市町村からの依頼を受け、養成校と共に学生主体型の認知症予防活動を実施している。ここでは、運動習慣の獲得を目的に、予防活動日以外の生活習慣のチェックも行う。

認知症カフェ事業

認知症の人と家族の会・4市町村からの依頼を受け、認知症カフェ事業に県士会員を派遣している。介護体験を語るグループワークに加え、認知症を理解するためのミニ講義や介護相談、ストレス発散のための創作活動等のプログラムを実施している。

佐賀県は認知症カフェの設置率が他県に比べ低いとため、認知症カフェまにゅあるを作成した。



認知症カフェマニュアル

認知症研修

県からの委託事業として「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」を実施している。2016-2018年にかけて、介護従事者向け**10**回、リハビリテーション従事者向け**10**回の計**20**回の研修会を行い、延べ**1,039**名の参加を得た。アンケートによる研修会の満足度は非常に満足**513**名、満足**483**名、不満足**18**名、非常に不満足**2**名であった。

今後の展開

- ・現状把握及び人材発掘のため県士会員に対してアンケート実施の取り組みを行う。
- ・アップデート研修会を行う。